

# 城西国際大学の建学の精神、教育理念、ポリシー等

## 建学の精神

学問による人間形成

## 教育理念

国際社会で生きる人間としての人格形成

## ビジョン

城西国際大学は、高い倫理観のもと、地域社会および国際社会のニーズに対応した先端的教育の提供および研究の推進をもって、日本、アジア、そして世界を舞台に活躍できる人材を育成する未来志向のグローバル大学になります。

## ミッション

城西国際大学は、多様な時代に即した知的で刺激的な学びを提供し、文化を継承・創造し多様性を理解して地域や世界で活躍できる人材、およびそれぞれの専門能力をもって関連領域と連携できる職業人を育成します。

## 教育目標

学校法人城西大学は、創立者水田三喜男による「学問による人間形成」を建学の精神として1965(昭和40)年に発足しました。城西国際大学は、その建学の精神を継承しつつ、「国際社会で生きる人間としての人格形成」を独自の教育理念として掲げ、未来志向の人材育成を社会的使命としてきました。

また、本学学則第1条では、「広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究し、知的、道徳的能力の涵養をはかり、もって国家社会に貢献し得る人材を養成するとともに、人類文化の発展に寄与することを目的とする」ことを掲げています。

本学は、これらを具現するため、次の5項目を具体的な教育目標として掲げ人材の育成に努めています。

- 先端性を持った経営情報学、人文学、メディア学、観光学、環境社会学の教育・研究に努め、文化を継承・創造し多様性を理解して地域や世界で活躍できる人材を育成します。
- 先端性を持った社会福祉学、薬学、看護学の教育・研究に努め、それぞれの専門能力をもって関連領域と連携して地域で活躍できる職業人を育成します。
- 地域社会および国際社会で活躍する社会人として必要とされる人間力と教養、実務能力などの修得、および帰属意識の形成をはかります。
- 大学設置地の地域社会と緊密な関係を保ち、産学民官の協働による地域の活性化、および文化の振興に貢献する「地域密着型」の総合大学、未来志向の大学を目指します。
- 同一法人の城西大学と相互啓発・協働をおこない、相携えて発展することで、社会における学校法人城西大学の責務を果たします。

## 城西国際大学が求める人物像(アドミッション・ポリシー)

城西国際大学は、建学の精神「学問による人間形成」および教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」を理解し、本学の教育方針に共感を示す以下のような人を求めます。

- 社会が求める教養と専門的な知識・技能の修得に主体的に取り組むことができる人
- 豊かな人間性を身につけ、地域社会・国際社会・産業界等に貢献することに価値を見出すことができる人
- 多様な文化の共生が必然となる今日の現代社会において、他者と積極的にコミュニケーションを取ることができる人
- 修得した学問を社会の発展に資するため、自らの意欲と身につけた知性を適切に表現することができる人  
城西国際大学では、現代社会に山積する諸問題の解決に積極的に取り組もうとする、可能性に満ちた学生を受け入れるため、多様な選抜方法による入学者選抜を実施します。

## 入学試験の留意点

「入学者受け入れの方針」を実現するため、以下の点に留意して各入学試験を実施します。学部学科の教育方針にふさわしい人を、学びに対する意欲・基礎学力・人物適性・経験・将来性などから、多面的な指標を用いて評価・選抜します。

### 《AO方式入学試験》

当該学部学科の教育目的に対し理解と共感を示し、その資質と能力を本学で発揮することに意欲的な人材に対し門戸を開く制度です。選抜は、学力検査・課題作成・面接試験・書類審査等により実施します。学力検査や課題作成では、志望する学部学科が必要とする基礎学力の修得状況に主眼を置き評価します。面接試験では、志望動機、入学後の目的意識や卒業後の進路希望、高校での学習・学内外での諸活動などの生活全般、志望する学部学科への適性などを評価します。特に、受験者自身がこれまでの経験を踏まえて、自分の適性をどう理解し、本学での学びを通して、さらなるキャリアアップがどのように実現可能であると考えているかを評価します。書類審査では、調査書や志望理由書をもとに、学習記録、学内外での活動記録、取得資格、志望動機や社会への興味関心など、学力検査では測りたい資質や能力を評価します。

### 《指定校推薦入学》

本学が指定する高等学校に限定し、当該学部学科の教育目的に対し理解と共感を示して、その資質と能力を有すると学校長が推薦する人材に対し門戸を開く制度です。選抜は、面接試験・書類審査により実施します。面接試験では、志望動機、入学後の目的意識や卒業後の進路希望、高校での学習・学内外での諸活動などの生活全般、志望する学部学科への適性などを評価します。書類審査では、調査書や志望理由書をもとに、学習記録や学内外での活動記録、取得資格、志望動機や社会への興味関心等を評価します。本学が指定する高等学校には、個別に指定枠を通知します。

### 《公募制推薦入学》

学部学科が求める基準を満たし、学校長や本学が指定する高校教員（進路担当、学年主任、担任等）が推薦する人材を対象に実施します。当該学部学科の教育目的に対し理解と共感を示し、その資質と能力を有すると推薦される優秀な人材に対し門戸を開く制度です。選抜は、学力検査・課題作成・面接試験・書類審査等により実施します。学力検査・課題作成では、志望する学部学科が必要とする基礎学力の修得状況に主眼を置き評価します。面接試験では、志望動機、入学後の目的意識や卒業後の進路希望、高校での学習・学内外での諸活動などの生活全般、志望する学部学科への適性などを評価します。書類審査では、調査書や志望理由書をもとに、学習記録や学内外での活動記録、取得資格、志望動機や社会への興味関心など、学力検査では測りがたい資質と能力を評価します。

### 《大学入試センター試験利用入学試験》

大学入試センター試験を受験し、本学を志望する人材に対し門戸を開く制度です。選抜は、大学入試センター試験結果に加え、学部学科ごとに本学独自の学力検査等の有無を定めて実施します。大学入試センター試験の結果をもとに、志望する学部学科が必要とする基礎学力の修得状況に主眼を置き評価します。

### 《一般入学試験》

当該学部学科の教育目的に対し理解と共感を示し、その資質と能力を有する優秀な人材に対し門戸を開く制度です。選抜は、本学が指定する教科・科目の学力試験により実施します。学力試験では、志望する学部学科が必要とする基礎学力の修得状況に主眼を置き評価します。一部の学科では、面接試験も実施し、志望動機、入学後の目的意識や卒業後の進路希望、高校での学習・学内外での諸活動などの生活全般、志望する学部学科への適性などを評価します。

## はじめに

この学生募集要項には出願手続きから入学手続き完了までのすべてを記載しています。記入に際しては間違いのないように十分注意してください。受験上の注意事項や選考会場案内図なども記載していますので、選考当日はこの「学生募集要項」を必ず持参してください。

また、出願前にアドミッション・ポリシーを必ず読んでください。

### 受験上の注意事項

1. 選考会場は、受験票に指定された選考会場で受験してください。指定された選考会場以外での受験はできません。
2. 選考当日は、指定された時刻までに指定の選考会場に入室してください。
3. 選考会場の入室場所等は、選考会場の入り口に掲示するので、早めに到着し確認してください。
4. 選考会場の入り口で受験票の提示を求める場合があります。なお、付き添い者は選考会場に入室できません（控え室を用意します）。
5. 受験票は、机面上に表示している受験番号票の下方におき、筆記用具以外は鞆等にしまってください。
6. 受験票を紛失または忘れた場合は、選考当日、「仮受験票」の交付を受けてください。仮受験票の交付場所は、選考会場に掲示等で指示します。
7. 受験票、筆記用具（HBまたはHBより濃い鉛筆・プラスチック消しゴム）を必ず持参してください。
8. 選考会場での上履きは不要です。
9. 選考会場に入室する際は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類の電源を切り、鞆等にしまってから入室してください。
10. 試験中は、試験監督の指示に従ってください。
11. 選考会場までは公共交通機関を利用してください（シャトルバスの利用不可）。

●一般入試実施にあたっては、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を一部改変もしくはそのまま使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。「入試過去問題活用宣言」についての詳細は、次のURLにて確認してください。  
<http://www.nyushikakomon.jp>

